

英語を学ぶ(1)

2022. 7. 14(木)

数専ゼミは英語も教えています

英語も教えるんですか、とよく聞かれます。
実は、数専ゼミでは、英語も50年間教えています。

「数学的」英語を教えています

ただ、数専ゼミは数学専門塾ですから、英語も「数学っぽく」教えています。
つまり、暗記英語ではなく、「論理で」英語を使える学力を育てることをめざす指導です。
要するに、英語の語法と構文のルールを使い、日本語を介さないで英文の意味を取ったり、自分の考えを英語で表現できる学力を育てることを指導の目標としています。

日本語を介さないで英文の意味をとってみる

具体例で考えてみましょう。

Miki likes playing tennis with her friends in the park.

このような英文の「意味」を取るときの思考プロセスを分析してみます。
英語は、日本語と違って、語法や構文の規則が厳格です。だから、この語法や構文ルールを使うことで、日本語を必要とせず意味がとれます。上の文でこの過程を分析してみます。

(1) 一般に、平叙文はS + Vの順で並びます。

ここから「だれが(何を)する」「だれが何だ」が書いてあるはずだ、と予想できます。
だから、Miki likes から「美紀は～が好きだ」という意味が取れます。

(2) likes の後には playing tennis が続きます。

この語の並びから、likes は他動詞だから目的語をとる。それがplaying tennis だということ意味が取れます。

ここまでで、「美紀はテニスをするのが好きだ」という意味が取れます

ここでは、playing は動名詞で他動詞の目的語であるから、likes の目的語の資格があると理解できます。

一方、もし、like が次のように使われていたとすると、

Miki looks like her mother very much.

lookが動詞だからlikeは動詞にはなれない。likeの後にher mother(名詞句)があるから、このlikeは前置詞である。

like が前置詞でlike her mother の句が副詞句として、動詞 looks を修飾しているから「～ように」という意味になるはずだという知識が瞬時頭をよぎります。

- (3) ここで、基本文型は完了し、英文の骨格は理解しました。でも、文は続きます。
基本文型のあとに続くのは、時や場所や様態を表す副詞(句、節)だ、というルールが次の思考を喚起します。それに従って、次の語群を見ます。するとwith her friends というフレーズがあります。「テニスをするのだから、だれかとするに決まっている。」この状況を予想することによって、withが、手段を表すのではなく、「～といっしょに」という意味を表す前置詞である理解できます。前置詞+名詞(目的格)という一般ルールが頭をよぎります。
- (4) さらに語群が続いています。この後に続く副詞は「場所」か「時」の意味の語群がくるはずだ、と予想して見ます。in the park が見えます。ここで前置詞はinです。前置詞inは無数の意味があります。playing tennisやthe parkとのつながりで、ここでは場所を示す前置詞として使われているということがわかります。「公園で」と了解します。

このようにして、語法と構文のルールを使うことで、全体の意味が取れます。
英文は、語と語、節と節、文と文のつながりで意味を形作っていますから、これらのつながりのルールを見抜くことで日本語を介さずにその文の意味が取れるのです。

このような思考プロセスは、瞬時におこなわれます。
当然、日本語が介入する時間などありません。
だから、こうした能力が身につくと、むしろ、日本語がじゃまになります。
日本語を介さないので、非常に速く英文の意味を取っていくことができるようになります。

英語のリスニングにも効果的な学習法である

英文を聞くリスニングのプロセスもこのようになると考えられます。
ネイティブの会話をきくだけでは身につかないリスニング能力も、このような語法と構文のルールを使って意味をとる訓練をゆっくりとやりながら、ネイティブの会話をくり返し聞くことで、驚くほど短期間に英語を聞き取るリスニングの力がつきます。

英語の自己表現に使う

自分の考えを英文で表現するときにも、語法と構文ルールを使うと、日本語を介さずに瞬時にできるようになります。英会話の学力につながる技術です。

次回に、語法と構文ルールを使って英作文をする思考プロセスを分析してみましょう。
語法と構文ルールを使う速読、英作文の学力を学ぶ数専ゼミのオリジナル教材も紹介します。

英語を「数学的に」学ぶ数専ゼミの数学教室です。

数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: suusen@seagreen.ocn.ne.jp